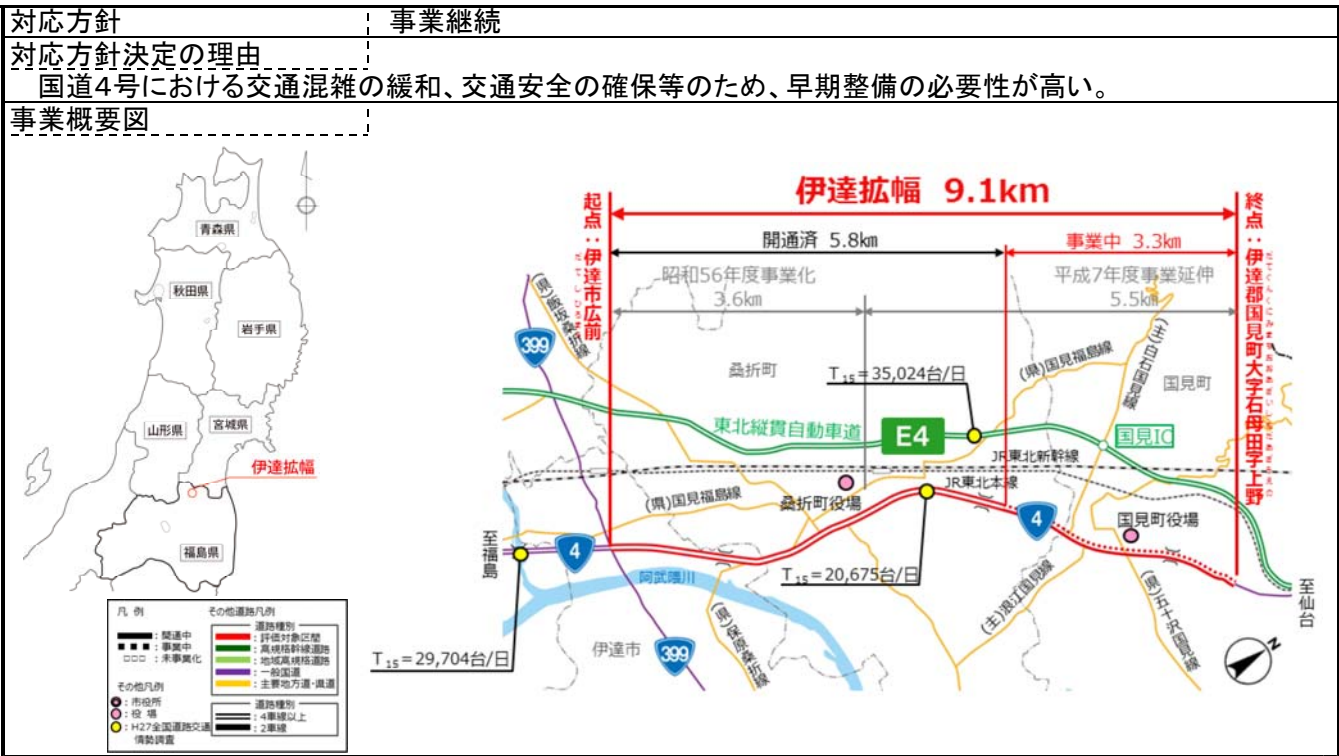


## 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：村山 一弥

<b>事業名</b> 一般国道4号 伊達拡幅	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 東北地方整備局	
<b>起終点</b> 自：福島県伊達市広前 至：福島県伊達郡国見町大字石母田字上野	<b>延長</b>	9.1 km			
<b>事業概要</b> 一般国道4号は、東京都中央区から青森県青森市に至る延長約889kmの主要な幹線道路である。伊達拡幅は、福島県伊達市広前から福島県伊達郡国見町大字石母田字上野に至る延長9.1kmの4車線道路である。					
S56年度事業化		S56年度都市計画決定	S57年度用地着手	S61年度工事着手	
全体事業費		約198億円	事業進捗率	91%	
計画交通量		23,300台/日		供用済延長	5.8km
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体)	1.7	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 24億円 / 378億円 (事業費 : 15億円 / 352億円) (維持管理費 : 9.6億円 / 26億円)	<b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 125億円 / 650億円 (走行時間短縮便益 : 119億円 / 619億円) (走行経費減少便益 : 0.14億円 / 21億円) (交通事故減少便益 : 5.4億円 / 10億円)	<b>基準年</b> 平成29年
	(残事業)	5.2			
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 【全体事業】 交通量変動 : B/C=1.6~1.8 (交通量 ±10%) 事業費変動 : B/C=1.7~1.7 (事業費 ±10%) 事業期間変動 : B/C=1.7~1.7 (事業期間 ±1年) 【残事業】 B/C=3.8~6.4 (交通量 ±10%) B/C=4.9~5.5 (事業費 ±10%) B/C=5.1~5.3 (事業期間 ±1年)					
<b>事業の効果等</b> ①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間 : 32.3万人・時間/年、渋滞損失削減率 : 約6割削減 ②国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線の整備により、国見町から圏域中心都市である福島市へのアクセス向上が見込まれる (国見町→福島市 現況 : 32分→整備後 : 30分) ③災害への備え ・緊急輸送道路 (東北自動車道) が通行止めになった場合の代替路を形成する					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ○福島県知事の意見 国の対応方針 (原案) については、異議ありません。なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期完成に努めてください。 ○以下の団体から、伊達拡幅の整備促進について要望あり ・福島県知事、国見町長、福島県道路利用者会議、福島県伊達地方町村議会議長					
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 対応方針 (原案) どおり「継続」が妥当である。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・昭和56年度事業化、用地進捗率96%、事業進捗率91% ・平成7年度に延長5.5kmの事業延伸、現在まで当初事業化区間を含めて延長5.8kmの4車線化が図られている。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・事業進捗に係る問題はない。 ・残事業中区間 (延長3.3km) の開通は、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・新技術 (固定ゴム支承装置FxSB) の導入によりコスト削減を図る。					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。